

著 者 氏 名
神 谷 朋 公
Tomokuni Kazuoka

ソコソコ愛おしいスクーター

スクーターと聞いただけで、おれはバイクじゃないからと敬遠する人もいますが、僕はスクーターが好きです。何が好きかと問われると、無段階変速機(VVT)だからです。だって、ずっとパワーバンドで加速出来るんですよ。

バイクに乗る多くの人が、青春の頃にスクーターに乗った経験があるかと聞きます。ちなみに僕は大型二輪免許をとってからスクーターに乗ることに決めた乗りモノです。最初は近所を走るだけのアシでした。当時はまだ2スト・エンジンが盛っていた年代で、どうすればこの100ccのエンジンの加速を速くできるのか、という苦悶の連続的な実験で、45分かしながら、カスタムに耽溺していました。無段階変速機の魅力は、自分でカスタムするのと、変速口電機を換えれば、そのパーツも必ず算で済むということにあります。さらにマフラーやキャブを交換して、走りは劇変する、を繰り返して行きました。最終的にはイタリアの、2スト125ccを1/2ccに改造して行きました。実はそんなスクーターフリークな僕が、このフルスクライミングのスクーターに反応しない訳ではありません。

下の写真に、スクーター「大団」名義で生まれたSYM(ニース・ワゴン)の「DRG BT」(125cc)です。このスクーターは1988年に誕生、翌89年にはホンダの技術協力でおトバイの生産をスタートしました。さらに77年には、初代シビックの生産を開始、ホンダとの提携を維持してからは、静岡のホンダ社長が親戚し、丸井でのフェイス生産を行うなど、長年に亘る交流のある会社です。

乗ったらすぐわかるバランスのよい乗り味です。走り出しは、3000回転でクラッチが繋がり、そこから6000rpmで一気に駆け上がり、燃費も速い。燃費速いという点もスクーターより元気がよく、足場わりもしっかりしていてコーナーリングも楽しめます。

このスクーターなら、毎日気軽に乗ってみたいですね。スクーターだからセカンドバイクとは言わず、ファーストバイクにもなるスタイルと元気なよいエンジンで、ぜひ一度体験してみてください。

雑誌掲載記事集

2021年10-12月 SYM

1. 食わず嫌いのスクーター (DRG BTインプレ)
2. 直線基調のフォルムが精悍な個性派スポーツスクーター (DRG BT紹介)
3. つぐみライダーの行ってミラクル (DRG BT旅)
4. 10万円台で買えるお買い得スクーターはこれだ、他
5. SYMの取り扱いを拡大 (ニューモデル紹介)
6. 振動のないエンジンとスムーズな乗り心地
林道も十分走破できる原二アドベンチャー (NHT125インプレ)
7. 125ccの枠を超えた精悍アドベンチャー登場! (NHT125インプレ)
8. 軽快な走行フィーリングで毎日乗れるアドベンチャー (NHT125インプレ)
9. フルサイズのような存在感 (NHT125インプレ)

Ahead 228号
バイヤーズガイド
タンデムスタイル 11月号
モトチャンプ 10月号
タンデムスタイル 10月号

GoRide 12月号
オートバイ 12月号
タンデムスタイル12月号
単車倶楽部 12月号



SYM DRG BT
販売会社名 449-0001 株式会社
エンジン形式 4ストローク 2バルブ 4バルブ
最高出力 11.0 (8000rpm) 20.0 (8000rpm)
最大トルク 11.5 (4000rpm) 23.5 (2000rpm)
全長 1980mm 全幅 700mm
Total weight 140kg

250ccバイヤーズガイド
(モーターマガジン社)
21年版

直線基調のフォームが精悍な 個性派スポーツスクーター

道行く人を思わず振り返らせる、個性みなぎるフォームが特徴のSYM製スクーター、DRG BT。コンパクトなボディとパワフルなエンジンの組み合わせで、このクラスでは異次元のパフォーマンスを実現。まずはどんな走りをするのが注目だ！

- PHOTO：南 孝幸
- TEXT：太田安治、木川田ステラ、本誌編集部

SYM 問い合わせ先
モーターリスト合同会社 (03-3731-2388)
<https://www.sym-jp.com/>



SPECIFICATIONS

全長×全幅×全高	1960×795×1130mm
ホイールベース	1380mm
最低地上高/シート高	137mm/803mm
車両重量	132kg
エンジン形式	水冷4ストOHV2バルブ単気筒
総排気量	158cc
ボア×ストローク	59×57.8mm
圧縮比	11.2
最高出力	14.85PS/8500rpm
最大トルク	1.57kg-m/5500rpm
燃料供給方式	FI
燃料タンク容量	7.4L
キックスター角/トール重量NA	
変速機形式	CVT
ブレーキ前・後	φ260mmディスク/φ230mmディスク
タイヤサイズ前・後	120/70-13/130/70-13

SYM DRG BT

最高出力：14.85PS/8500rpm 最大トルク：1.57kg-m/5500rpm 価格：44万9900円



軍名の「DRG」とはドラゴンの略。デザインモチーフはその通りドラゴンで、ドラゴンの持つ、速さや強さのイメージもデザインに盛り込まれている。本国では2019年の発売以来大ヒット中だ。



コンパクトに切り詰めた車体は、前後荷重配分をほぼ60:50とすることに成功。最大バンク角も42度と深く、スクーターの枠を超えた運動性能の良いディメンションが与えられている。



TANDEM CHECK

RIDING POSITION



身長：163cm
体重：43kg



ライダーとの距離は近いものの、一段上のシートで視界は良く、肉厚シートで振動も少なく、快適です。ステップの位置がちょうどよく、ヒザもラクでリラックスできますし、ニグリップも楽めになります。ライダーにしっかりとつかまることもできます。グラブバーも長さがあるのでつかむ位置の自由度が高く、クイックに走る時も、のんびりクルーズしている時でも、体をしっかり安定させることができ、安心感も高いです。(ステラ)



リアショックはスクーターとしては珍しいセンターマウント方式。バンク角も42度と深く、高いレベルのスポーツ性能を達成している。



タイヤは前後13インチ。ブレーキは260mm径ローターを採用し、スポーティな走りに見合った強力なストッピングパワーを実現。



ナンバーステーをスイングアームマウントとさせてセパレート配置することでスッキリしたリアビューを実現している。



独特な配置のLEDヘッドライトが醸し出す表情は独創的。日本のメーカーにはないデザインが大きな魅力だ。



カラフルで美しいLCDデジタルメーター。突飛的な角形デザインが個性を主張するが、視認性は非常に高い。



ヘルメットを収納してもまだ余裕のあるトランクスペース。コンパクトな車格を考えれば、実用性も非常に高いレベルにある。



肉厚でホールド性に優れるシートはスポーツランも余裕。グラブバーは大型のものを左右に装備している。



水冷OHVシングル158ccユニットは14.85PSを発揮。消らかな吹け上がりも魅力だが、42.4km/Lという管燃費ぶりも光る。

ステラの「私も乗ってみました」

フィット感抜群のシート、姿勢よく乗れる絶妙な位置と形状のハンドルのおかげで、ワクワクするような走りを楽しめました！エンジンはとってもスムーズで振動も少なからず抑えて走りでも心地いいし、アクセルを大きく開けて乗っても楽しいです。ブレーキの効きも強力で、コンパクトな車体で取り回しにも優れているから、小回りも利いて便利。ちょっと近未来的なデザインもユニークでいいと思います！(ステラ)



ヤの接地感が希薄になりがちだが、DRG BTの前後車重配分はほぼ50:50。大差なく、コーナー立ち上がりもフル加速でもフロントのグリップ状態が明確に伝わってくる。メインフレームはアンダーボーン形状だが剛性は充分で、前後サスペンションのスプリング減衰力の設定もスポーティ指向。バンクさせたままのブレーキングやフルバンク中にも車体がグニャクすることがなく、想定ラジをヒタリとトレースできる。車重132kg、全長1990mmと、125cc並みに軽量コンパクトな車体に、スポーティなエンジンで機動力は抜群。個性的なデザインと併せ、ひと味違うスクーターを求める人にお薦めする。(太田安治)

自動避心クラッチが繋がり始めるのは約4000回転。動き出しに唐突感はなく、スルスルと速度を乗せ、低速域でのスピードコントロールはやりやすい。そこから回転を二気に開けると、7000回転台を保ってグレイ加速。ゼロ発進から70km/hあたりまでの力強さは特筆するで、250ccスクーターと同等以上の速さを誇る。CVTの弱点であるスロットル操作に対するレスポンスの遅れも感じない。70km/hを超えたと徐々に加速が鈍る、流れが速い幹線道路でも十分スピード可能。余裕を使うなら充分な動力性能を備えている。さらに感じさせられたのがハンドリング。スクーターはエンジン搭載位置の関係でリアが重くなってフロントタイ

独創のスタイリングと快活な走りが魅力！スクーター大国、台湾の中でも1954年創業で長い歴史を持つのがSYM。50ccから465ccまで約20種類のスクーターをラインアップし、世界90カ国以上に輸出するグローバルメーカーだ。そんなSYMがアジア地域で需要の多い150ccクラスに投入し、地元台湾では発売と同時に大ヒットしているスポーツスクーターが「DRG BT」だ。車名のDRGはドラゴン(龍)が由来だけに車体デザインはワイルド。モノショックのリアササユニットを水平に近い角度でマウントすることでスワキリさせたりアワリ、跳ね上げタメルセクションが目玉で、とはいえ、158ccエンジンのスクーターなので乗り味はどうかろう...と考えていたが、そんな不安は走り出した瞬間に解消された。動力性能もハンドリングも、既存の同クラスモデルとは次元の違うスポーティさを見せつけたからだ。自動避心クラッチが繋がり始めるのは約4000回転。動き出しに唐突感はなく、スルスルと速度を乗せ、低速域でのスピードコントロールはやりやすい。そこから回転を二気に開けると、7000回転台を保ってグレイ加速。ゼロ発進から70km/hあたりまでの力強さは特筆するで、250ccスクーターと同等以上の速さを誇る。CVTの弱点であるスロットル操作に対するレスポンスの遅れも感じない。70km/hを超えたと徐々に加速が鈍る、流れが速い幹線道路でも十分スピード可能。余裕を使うなら充分な動力性能を備えている。さらに感じさせられたのがハンドリング。スクーターはエンジン搭載位置の関係でリアが重くなってフロントタイ

10万台で狙える
お買い得スクーターはこれだ!

KYMCO GP125i

19万2500円

from 台湾 Taiwan



SPECIFICATIONS
排: 125cc
サ: 1915×680×1125mm
シ: 1mm
ps: 10.2ps/8500rpm
ト: 0.95kgm/6500rpm
重: 1kgガ: 5.7kg
フ: ディスク・ドラム
タ: 110/70-12・120/70-12

使い勝手の良いベーシックモデル

SYM オービット50

16万2800円



SPECIFICATIONS
排: 50cc
サ: 1915×680×1125mm
シ: 1mm
ps: 3.5ps/7500rpm
ト: 0.35kgm/6500rpm
重: 1kgガ: 5.7kg
フ: ディスク・ドラム
タ: 110/70-12・120/70-12

シンプル&ベーシック

SYM オービットIII 50

16万5000円



SPECIFICATIONS
排: 50cc
サ: 1915×680×1125mm
シ: 1mm
ps: 3.5ps/7500rpm
ト: 0.35kgm/6500rpm
重: 1kgガ: 5.7kg
フ: ディスク・ドラム
タ: 110/70-12・120/70-12

マイチェン前のキャブ仕様がいじりやすい

オービットIII 50

21万4500円

ワンランク上の
遅いボディ



UP DATE

SPECIFICATIONS
排: 50cc
サ: 1915×680×1125mm
シ: 1mm
ps: 3.5ps/7500rpm
ト: 0.35kgm/6500rpm
重: 1kgガ: 5.7kg
フ: ディスク・ドラム
タ: 110/70-12・120/70-12

プレミアム感のある125ccモデル共通のボディはサイズに余裕があり、USB電源が装備されるシート下トランクにはフルフェイスも収納可能。

F1化で倍々力強い傾向だが、アジア人モデルはまだ安い

台湾のスクーターは、性能も見た目も、そして価格も、アジア市場に合わせた設計が特徴です。特に125ccクラスは、燃費と出力のバランスが良く、メンテナンスも簡単で、長く乗りたいというニーズに応えています。

SYM ジョイライドS200i

47万3000円

空冷 4スト FI

Color: ●○○●

台湾



段差のついたシートとバックレスト付きのタンデムシートは、風防効果の高い大型のスクリーン、フラットで広い足元と合わせて2人乗りや長距離でも快適だ。

タンデムやロングライドに最適

SPECIFICATIONS
排: 175.3cc
サ: 2100×760×1400mm
シ: 1mm
ps: 17ps/8250rpm
ト: 1.6kgm/6500rpm
重: 1kgガ: 7.6kg
フ: ディスク・ディスク
タ: 110/90-13・130/70-12

SYM オービットIII

22万5500円

空冷 4スト FI

Color: ●●○○●

台湾



φ226mmディスクに前後連動ブレーキを装備。シート下にはフルヘルメットの収納が可能など必要十分なスペック。オプションでリヤキャリアも装着できる。

リーズナブルな価格も嬉しい!

SPECIFICATIONS
排: 125cc
サ: 1915×680×1125mm
シ: 1mm
ps: 10.2ps/8500rpm
ト: 0.95kgm/6500rpm
重: 1kgガ: 5.7kg
フ: ディスク・ドラム
タ: 110/70-12・120/70-12

SYM ジェットS

34万9800円

空冷 4スト FI

Color: ○●●

台湾



アグレッシブな外觀にがっちり感のある車体、ABS装備の強力なブレーキを持つスポーツモデル。腰高なポジションは視界が広く渋滞時の走りやすさにも繋がる。

通勤ランナーの素質十分!

SPECIFICATIONS
排: 124.65cc
サ: 1813×705×1095mm
シ: 1mm
ps: 11.6ps/8500rpm
ト: 1.03kgm/6500rpm
重: 1kgガ: 6.8kg
フ: ディスク・ディスク
タ: 110/70-12・120/70-12

モトチャンプ (三栄) 21年10月号

SYM MAX SYM TL

99万円

水冷 4スト FI

Color: ●●○○●

台湾

新開発の水冷2気筒エンジン搭載

フロントサスペンションは倒立フォーク、リヤにはマルチリンク式モノショックを採用するなど豪華な足まわり。前後重量配分にも優れ、スポーティな走りを実現した。



4.5インチTFTディスプレイメーターは未来的デザインでライダーを盛り上げる。

SPECIFICATIONS
排: 465cc
サ: 2215×801×1442mm
シ: 1mm
ps: 40.8ps/6750rpm
ト: 4.33kgm/6250rpm
重: 1kgガ: 12.5kg
フ: ディスク・ディスク
タ: 120/70-15・160/60-15

SYM DRG BT

40万9000円

水冷 4スト FI

Color: ●○○●

台湾

モチーフはドラゴン

14.8psの水冷エンジンにセンターマウントのプリロード調整機構付きリヤサスペンションなど、ハード志向のスポーティな走りが魅力。灯火類はフルLED。



水平配置のセンターリヤショックによる50:50の前後重量配分でスポーティな走りを実現。

SPECIFICATIONS
排: 158cc
サ: 1990×735×1130mm
シ: 1mm
ps: 14.8ps/8500rpm
ト: 1.57kgm/5500rpm
重: 1kgガ: 7.4kg
フ: ディスク・ディスク
タ: 120/70-13・120/70-13

小型/普通二輪免許

SYMNH X125/200

発売中
125 = 36万3,000円
200 = 39万9,300円



SYM

☎モータリスト合同会社
☎03-3731-2388
🌐https://sym-jp.com

NEW MODEL

SYMの取り扱い車種を 一気に拡大する

台湾のブランドSYMは現在モータリスト合同会社が輸入しているが、これまでには本国にある一部のラインナップ(スクーター)だけだった。しかし2021年は取り扱い車種を大幅に増やすことに! SYMという“スクーター”というイメージを持つ人が多いだろうが、ギヤ付車も手がけており、ネイキッドモデルであるSYMNH X125/200、アドベンチャーツアラーモデルのSYMNH T125/200の導入を開始する。どのモデルも4ストロークOHC2バルブエンジンを搭載。決してハイパワーを叩き出すわけではないが、軽量な車体でキビキビとした走りを楽しめるだろう。ジョイライドS125i/200iは、これまでRVシリーズとして人気を博したモデルの後継機にあたり、灯火類のフルLED化やシャープなデザインが採用され、ネーミングも変更。大柄なボディにフロント13インチ・リア12インチホイールを履き、安定した走りが期待できるモデルだ。最後に紹介するJET14 125はこれまでJET Sとして販売されていたモデルの後継機になる。それまで空冷125ccエンジン+前後12インチホイールだったが、エンジンは水冷となり、ホイールサイズは前後14インチとなった。より楽しい走りを味わせてくれるだろう。

小型/普通二輪免許

SYMNH T125/200

発売中
125 = 36万3,000円
200 = 39万9,300円



小型二輪免許 | AT小型二輪免許

JET14 125

発売中
34万9,800円



小型/普通二輪免許 | AT小型/普通二輪免許

JOYRIDE S125i/200i

発売中
125 = 44万円
200 = 47万3,000円

タンデムスタイル
(クレタパブリッシング)
21年10月号



ライダー身長 154cm



モデルは154cmで少し小柄です。シート高は810mm。重量は150kgあるのですがアップハンドルで操作しやすいためそれほど重さを感じません。すんなり足を降ろせるので想像よりも足つきはイイ感じですよ

エンジン形式	空冷4ストローク単気筒 OHC2バルブ
全長/全幅/全高	2,068mm/860mm/1,195mm
シート高	810mm
重量	150kg(ガソリンは含みません)
軸距	1,405mm
総排気量	124.1cc
最高出力	8kW(10.8PS) / 9,000rpm
最大トルク	9.3N・m / 7,500rpm
始動方式	セルフ式
燃料タンク容量	11L

特に女性が乗ると125ccとは思えない大きさ、フルサイズのバイクに乗っているかのような安定感で操作性もGOOD!

LINE UP /

SYMNH T 125
363,000円(税込)
レッド/ホワイト、ブルー/ホワイト、ブラック/ホワイト、グレー/ブラック
ストリートからワインディングまで楽しめるロードスポーツモデル

SYMNH X 125
363,000円(税込)
グレー/ブラック、レッド/ブラック、ホワイト/ブラック、ブラック/サンド、グレー/ブラック
よりエキサイティングな走りを楽しめる200ccモデル、6速ミッション

SYMNH T 200
399,300円(税込)
レッド/ホワイト、イエロー/ホワイト、ブラック/ホワイト

SYMNH X 200
399,300円(税込)
レッド/ブラック、ブルー/ブラック、サンド/ブラック



フロント19インチ、リア17インチのタイヤ。走行時の安定性も高いです!



アドベンチャーバイクらしいアップハンドル。操作性が高く、乗ちんポジションです



至るところにカーボン調のパーツが採用され高級感があります



5kgまで荷物が載せられるリアキャリア。こちらも標準装備。これが付いているととても簡単に荷物が積めます



エンジンアンダーガードは標準装備。アドベンチャーの雰囲気を感じ上げてくれます。これなら小石はねでも怖くないですね



コックピットには大型の液晶ディスプレイ。ギアシフトポジションインジゲーター付きで何速に入っているのかがひと目でわかります



雨風を防ぐウィンドシールドや、明るく照射範囲の広いLEDヘッドライト



SYM
SYMNH
T 125

スクーターに定評のあるSYMからモーターサイクルラインが新登場!
小型免許で乗れる125ccの遊べるアドベンチャーモデルです!

フルサイズのような存在感

冒険心が刺激される人気のアドベンチャーバイク。しかし、オンロードだけでなくオフロード走行も考えられているため、比較的車高が高くて大型なイメージです。今回ご紹介するのは、スクーターで馴染みのあるSYMから最新技術を投入した本格的なモーターサイクル、125ccのアドベンチャーモデルです。400ccじゃないの?! というくらい大きいです。まず大きさに驚きましたが、乗ってみるとこれが! すごく乗りやすい! 「ちんぷ」と重いかも〜と聞いていたのですが、全然そんなことはありません。特に走り出したら、ハンドリングも軽くポジションも快適です。片足なら着くので信号待ちも不安はありませんでした。タイヤも大きいので、キヤップや道路の割れ目も気にせず走れます。さすがアドベンチャーバイクです。さらに価格設定間違えてませんか? というくらいのお値段が嬉しいですね。ツリリングだけでなく、通勤・通学など日常使いにもピッタリです!

MODEL: 石川 菜々(154cm) PHOTO: 小川 伸晃 TEXT: GirlsBiker
問: モーターリスト 03-3731-2388 <https://motorists.jp>